

海老名市立海老名中学校 学校運営協議会 議事録
(令和7年度 第1回)

1 日時 令和7年5月23日(月) 13:30～

2 場所 海老名市立海老名中学校 校長室

3 出席委員 梶山校長・河野教頭・小坂教務
大島委員・今井委員・松島委員・七海委員・檀浦委員
奥泉委員・小田島委員・吉野委員

4 会議の内容

(1) 委員自己紹介

(2) 本年度学校運営方針及び学校の現状

- ・方針に変更はない。特に(12)地域とともにある学校づくりの充実と(14)小中一貫教育の推進に今年度重点を置く予定。

(3) 年間計画

- ・2年生校外学習は東京方面の校外学習を実施する。京都・奈良ありきではなく、3年間を見通したねらいをもとに学年の裁量で場所を選定する。(京都・奈良は外国人が多く、物価も高い。市内中学校も京都・奈良は少なくなっている)

(4) 海老名中学校区の教育力・地域人材の活用

- ・今年度は2年生の家庭科の調理実習の場面で、小田島さんにコーディネートしていただき地域の方にお手伝いをお願いする予定。

(5) 小中一貫教育の充実

- ・昨年度と同様に中学校の教育活動に参加してもらう。例、修学旅行の発表を小6に聞かせる。また、職場体験の発表を小5に聞かせる。等
- ・今年度はあそびっこクラブに中学生が参加。小学校の鼓笛隊を中学生に見てもらうなど日程が合えばできる活動を広げていきたい。

(6) PTAの会員数の低下について

- ・60%～70%が加入率の現状。
- ・学年が下がるほど、加入率は減る傾向にある。

(7) ご意見

- ・生徒の皆さんが元気かどうかは、先生たちがケアしていると思うが、先生たちの健康が気になる。（大島委員）
- ・保護者同士のつながりがないと、学校は保護者全員に個々に対応しなくてはならない。学校としては難しい状況になるのではないか。（今井委員）
- ・高校では職員の加入が少ない。PTAがどのような団体で、どのような意味があるかを伝えていく必要がある。（七海委員）
- ・仕事が忙しく、委員になりたくない。なるゆとりがない。という人がいるので、学校によっては会費は全員収め、役員は別という学校もある。（檀浦委員）
- ・今後の加入率によっては、小学校のパパパワーズや猫の手のようなボランティア団体のようにしていく方法もあるし、とても助かっている。（奥泉委員・檀浦委員）
- ・加入率が50%を切ったところで、新しい組織を検討しておかなければならない。その準備をしておく必要がある。（梶山校長）
- ・PTAの仕事は学校の仕事を楽にするものであると思うし、そうでなくてはならない。（吉野委員）